

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 4 年 4 月 30 日

事業名称	固定資産評価審査委員会運営費[固定資産評価審査委員会事務]											
予算科目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	1	一般管理費	事業番号	20	
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし)											
	<input type="checkbox"/> 課内庶務等 <input type="checkbox"/> 休止したもの <input type="checkbox"/> 廃止したもの											
担当部署・課長名	文書			課			法規			係	課長名	阿部 晴彦
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号		行 - 2		
【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現								総合計画書 (ページ)		122		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	固定資産の評価額に不服があるために行われた審査の申出					審査の申出件数						
	→											
2 指標の推移	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
	審査の申出に対する公正中立な機関による審査の実施					決定件数/審査の申出件数						
	→											
3 経費	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
	委員会による審査					審査の申出に対する決定件数						
	→											
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標					
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標				
	対象指標	①の数値	件	0	0	1						
	成果指標	②の数値	%	0.0	0.0	100.0						
	目 標	②の目標値				100	100	100				
	目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。) 審査の申出があった事案は、すべて委員会による審査を行う。											
3 経費	事業費(実績)		円	97,700	73,000	139,000						
	財源	一般財源	円	97,700	73,000	139,000						
		特定財源	円	0	0	0						
	(うち受益者負担)		円	0	0	0						
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)		人	0.02	0.02	0.20					
		所要人数(再任用)		人	0.00	0.00	0.00					
職員人件費(再任用以外)		円	166,200	167,600	1,650,000							
職員人件費(再任用)		円	0	0	0							
事業費+人件費		円	263,900	240,600	1,789,000							
4 課題	今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) ※廃止したものを除く											
	令和4年度税制改正において、審査申出期間に特例措置が講じられたことにより、令和4年度も審査の申出の可能性が高まっている。当市では令和3年度に1件申出があったが、平成26年度から令和2年度までの間には申出がなく、依然として実例が乏しい。必要があれば、他市の審査の申出案件について情報収集を行う必要がある。											
5 今後の方向性	仕事の方向性(「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など) ※廃止したものを除く											
	定期協議会の資料、その他関連資料を確認し、手続に関する理解を深める。											

※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。
人件費(再任用職員以外)
年間単価は、8,250,000円
時間単価は、4,200円
で計算してください。
【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)